

地域医療連携だより

えん

発行日：令和7年8月 発行所：富山赤十字病院 富山市牛島本町2丁目1番58 TEL. 433-2492 発行責任者：時光 善温

## 人工関節手術が進化！人工関節支援ロボットMakoを導入しました

第2整形外科部長 橋本 浩

当院では、2025年3月より人工関節支援ロボットMako（メイコー）を導入しています。今のところ、主に変形性関節症などに対する人工股関節置換術と人工膝関節置換術で使用しています。今後も適応は拡大される予定です。

### なぜ、今ロボットなのでしょう？

最近はAIブームもありますが、様々なデジタル機器が生活に入りこんでいます。便利さはいうまでもなく、今ではスマホなしの生活が考えられないぐらいになっていますよね。医療でもどんどん最先端技術が導入されています。ロボット手術の有用性が徐々に証明され、世界ではロボット手術の割合や件数がどんどん伸びています。そう遠くない将来には、ロボットなしでの手術はありえないような状態になってしまうかもです。当院でもいち早く最先端技術を導入して安心安全な医療に取り組んでおります。

### ロボット支援による人工関節置換術とは？

ロボット手術は保険適応ですので、患者様の高額な費用負担はありません。これまで当院で行ってきた人工関節置換術ではほとんどの症例でロボットが使用可能です。ロボット手術と言っても、ロボットが勝手に手術をするわけではありません。

最初に、術者が術前のCTデータをもとに、手術台に乗っている患者の骨の位置をロボットに把握させます。CT画像データを利用することによって、非常に正確で登録が早く容易です。（15分からないぐらい）

その後、術者はロボットアームを持って骨を削り始めます。ロボットアームは、ドリル先端の位置と患者の骨の位置関係を把握しながら、術者の手術操作がある程度の範囲内で制御します。骨を削る予定範囲や削れている状況がリアルタイムで確認できます。予定から大きく外れると安全に停止します。膝関節置換術は骨切りまでですが、股関節置換術の場合はインプラントの設置もロボットアームが制御して予定の角度や深さに設置できます。

### メイコーのメリットは？

#### ①精密

術前のCT画像から作る3Dモデルで、ミリ単位の精密な計画が立てられる。  
体に合ったサイズのインプラントが正確に設置できる。

これらにより、術後の違和感が少なく、インプラントの寿命が延びて、脱臼が減ります。

#### ②安全

ロボットアームの制御によって、神経血管等の損傷が防がれ、予定通りに骨が削れます。  
骨がきれいに削れることによりインプラントの安定性が高まります。

固定性がいいので、スクリューの使用が減って血管損傷も減少します。

#### ③低侵襲

予定通りに骨を削ることができて、インプラントが正確に設置できるために、インプラントの設置をやり直すことがほとんどありません。

骨切りガイドを使わないとことによって、組織の剥離が最小限となります。

術後の痛みが少ないとことによって回復が早く、退院も早くなります。

人工関節置換術は以前より非常に成績が良く、全国でも毎年増加している手術です。当院では、手術支援ロボット（メイコー）を導入することで、人工関節置換術をさらに安全でより良い成績で行うことができるようになっております。なお、股関節は橋本、膝関節は野上が主に担当しております。股関節や膝関節の痛みでお困りの患者様がおられましたら、ご紹介よろしくお願ひいたします。



# 最新の糖尿病治療を紹介 — マンジャロ®とアワイクリ®の登場

糖尿病・内分泌・栄養内科部医師 松越 真之介

平素より地域の先生方には多大なるご支援、ご協力を頂き誠にありがとうございます。糖尿病治療は日進月歩で進化しており、近年、画期的な新薬が相次いで登場しています。本稿では、2つの注目注射製剤 GIP/GLP-1デュアルアゴニスト「マンジャロ®（一般名：チルゼパチド）」と、週1回投与型超長時間作用型インスリン「アワイクリ®（一般名：イコデク）」についてご紹介します。



まず、マンジャロ®は、これまで主流だったGLP-1受容体作動薬に加えて、GIP受容体にも作用することで、より強力な血糖降下効果と体重減少作用を発揮します。SURPASS試験群では、最大HbA1c低下2.4%、体重減少12kgというインパクトある成績が報告されており、肥満を伴う2型糖尿病患者に特に高い有効性を示します。

さらに注目すべきは、単なる血糖改善にとどまらない多臓器保護作用です。心血管イベントリスクを有する患者において、GLP-1受容体作動薬に準じた心血管保護効果が期待されています。また脂肪肝・NAFLDの改善効果にも言及されており、消化器領域との連携も今後重要視されています。注射は自己注射対応のペン型製剤で、2.5mgから段階的に增量する設計で、副作用は消化器症状が主体ですが、低血糖リスクは低く、安全性も高い水準にあります。

一方、アワイクリ®は、これまで毎日1回の投与が標準だった基礎インスリン製剤に対し、週1回の投与で済むという新しい選択肢を提供します。半減期は約8日と非常に長く、安定した血中濃度が得られることで、血糖変動の抑制にも寄与します。ONWARDS試験群では、既存の長時間型インスリンであるトレシーバ®と同等かそれ以上のHbA1c改善効果が確認され、低血糖の頻度も同等以下でした。週1回の投与により、患者のアドヒアランス向上や日々の注射の負担軽減が期待され、高齢者や注射

に抵抗のある方にとって、治療継続の大きな助けとなります。

これら2剤はいずれも現行治療の「次の一手」として大きな可能性を秘めています。当科では導入時のサポートや適応評価も行っておりますので、お気軽にご紹介・ご相談ください。



# 私たち 富山赤十字訪問看護ステーションです



安心安全 納得と信頼の看護を  
地域のみなさまとの連携を大切に  
本人の選択と本人家族の心構えを支える

在宅医療に関わるみなさま  
**患者さんの在宅療養生活で お困りごとはありますか？**

入退を  
繰り返している

認知症、がんの終末期、  
難病など



薬剤の自己管理が  
困難な状態

生活には  
医療機器が必要



訪問看護にご相談ください  
患者さんがご自宅で安心して暮らせるようサポートいたします

## 緩和ケア・看取りケア 安心してお任せください

最期の時まで寄り添う温かい訪問看護を提供します



- ・緩和ケア、看取りケアの専門知識と経験
- ・利用者様の心に寄り添うケア
- ・24時間365日体制の相談窓口
- ・痛みや苦痛の緩和
- ・ご家族へのサポート
- ・地域の医療機関との連携



疼痛のコントロール、呼吸困難の緩和、体位変換や清拭、精神的なケア、  
ご家族への相談対応など、安心してお任せ下さい

ご依頼は当ステーションに直接ご連絡ください。

TEL : 076-433-2573 FAX : 076-433-2739

訪問看護ステーション 看護師長 津浦 陽子

# やすらぎの会・クロスサロンとやまのお知らせ



開催日	テーマ	時間・場所
10月15日(水)	やすらぎの会 「乳がん」	14:00～15:00 1階多目的室
11月19日(水)	やすらぎの会 「がん治療における食事」 クロスサロンとやま	13:30～15:30 1階多目的室
12月17日(水)	やすらぎの会 「がん治療におけるリハビリテーション」	14:00～15:00 1階多目的室
1月21日(水)	クロスサロンとやま	13:30～15:30 1階多目的室
2月18日(水)	やすらぎの会 「がん治療の薬剤」	14:00～15:00 1階多目的室
3月19日(木) ※木曜日開催	やすらぎの会 「がん治療 手術療法」	14:00～15:00 <b>3階討議室</b> ※場所変更

昨年の交流会の様子です。  
聴くことや話すことで気持ちの整理や療養のヒントを得る場となっています。



お問い合わせ:がん相談支援センター ☎076-433-2222(代)

## 慰靈祭

総務課 中山 佳津子

今から80年前の1945年8月2日前午0時36分、富山市はB29戦闘機174機の50万発以上の焼夷爆弾攻撃を受け、市街地の99%以上が焦土と化しました。約2万5千世帯、11万人の市民が罹災、3千人の尊い命が奪われ、これは広島・長崎への原子爆弾投下を除く地方都市への空襲としては最も被害が大きかったといわれています。当院も病院・学校・支部施設が全焼し、多くの職員、入院患者、生徒が犠牲となりました。

毎年この富山大空襲にあわせて、病院前庭慰靈碑前にて戦没者追悼慰靈祭を行っており、8月1日(金)に執り行いました。慰靈碑には、富山大空襲で犠牲となった職員、日中戦争以後に戦死・病死された医療関係者の名前が刻まれています。当日は院長をはじめ多くの職員が参列し、亡くなられた方の冥福を祈り平和への思いを新たにしていました。



# 新たに地域医療連携の会に加入いただいた医院や先生の紹介

## ●光陽内科クリニック

院長 長堀 富海江先生

富山市新根塚町3丁目5-1 TEL 076-481-6275

### ●自院PR



2025年4月に開院した光陽内科クリニックは、「健康づくりで未来を繋ぐ、住み慣れた町のパートナー」を理念に、地域に根ざした内科診療を行っています。生活習慣病や風邪などの一般内科に加え、訪問診療やオンライン診療にも対応。予約システムやセルフレジを導入し、安心・快適に受診していただける環境を整えています。



### ●富山赤十字病院に望むことは？

富山の地域医療を在宅診療で支えていきたいと考えています。ご要望に応じた検査や往診にも丁寧に対応いたします。お気軽にご紹介いただけますとうれしいです。

## ●小林医院

院長 小林 直子先生

富山市婦中町速星875-2 TEL 076-466-3230

### ●自院PR



8年間勤務した「富山市まちなか診療所」を退職して、令和7年6月1日に富山市婦中町速星で開院しました。御自宅に「安心」「納得」「つながり」をお届けすることを目指した訪問診療メインの医院です。家庭医療専門医が地域の多職種と連携して、患者さんに寄り添い日々の生活に根差したケアを提供します。また社会や人とのつながりを大切にして地域全体で患者さん御家族をお支えする体制を築くことを目指しています。



### ●富山赤十字病院に望むことは？

住み慣れた自宅で過ごしたいと望む患者様がおられましたら、ぜひ「小林医院」をお気軽にご紹介頂けましたら幸いです。

## ●高桑内科クリニック

院長 高桑 功一郎先生

富山市町村2丁目196 TEL 076-422-5085

### ●自院PR



富山赤十字病院を退職後、しばらく県外で勤務していましたが、生まれ育った富山に戻ってまいりました。2025年4月に内藤内科クリニックを継承しました。これまでの経験を地域の皆さんのお役に立てられるよう、全力を尽くす決意です。十分な駐車場を備え、院内処方が可能で、患者さんにやさしい医療を目指しています。糖尿病診療では、院内処方でインスリン・GLP1受容体作動薬導入、リブレの取り扱い、管理栄養士による栄養指導を行うなど力を入れています。



### ●富山赤十字病院に望むことは？

いつも紹介を快くお受けくださいまして感謝しております。頼りにしております。当院でお力になれるようなことがあれば何なりとおっしゃってください。今後ともどうぞよろしくお願いします。

# 9月、10月の外来診療に関する医師不在日案内

**9月**

科名	医師名	不在日
眼科	大橋 茗	22日(月)
皮膚科	中尾 将治	4日(木) 5日(金) 丸山真里菜 22日(月) 24日(水) 25日(木) 26日(金)
小児科	津幡 真一	11日(木) 眞島星利奈 3日(水) 5日(金) 9日(火)
脳神経外科	桑山 直也	12日(金) 津村貢太朗 22日(月)
心臓血管呼吸器外科	池田 真浩	8日(月) 川向 純 16日(火)
耳鼻いんこう科	館野 宏彦	26日(金)
整形外科	野上真紀子	16日(火) 17日(水) 堀川鹿乃子 4日(木)
内科	川根 隆志	5日(金) 品川 和子 4日(木) 5日(金) 賀来 文治 9日(火) 10日(水) 11日(木) 鈴木 信博 12日(金) 湊山 周平 26日(金) 飯田 將貴 24日(水) 26日(金) 藤井 俊 25日(木) 澤田 凌 8日(月)
産婦人科	川上 翔子	1日(月)
泌尿器科	長坂 康弘	29日(月) 30日(火) 上田 太郎 22日(月) 24日(水)

※不在日には、代診を立てております。

**10月**

科名	医師名	不在日
眼科	辻屋 壮介	9日(木) 10日(金) 片岡 大智 14日(火) 15日(水) 16日(木) 17日(金)
歯科口腔外科	石戸 克尚	2日(木) 尾崎 恵悟 14日(火) 15日(水) 16日(木)
皮膚科	中尾 将治	2日(木) 3日(金) 16日(木) 17日(金) 24日(金) 丸山真里菜 10日(金) 30日(木) 31日(金)
脳神経外科	桑山 直也	29日(水) 31日(金) 津村貢太朗 20日(月) 21日(火) 23日(木)
小児科	足立 雄一	1日(水) 3日(金) 24日(金) 津幡 真一 9日(木) 23日(木) 24日(金) 眞島星利奈 22日(水) PM
外科	竹原 朗	7日(火) PM
耳鼻いんこう科	赤荻 勝一	29日(水) 30日(木) 中田 一希 20日(月) 21日(火)
高令心療科	殿谷 康博	7日(火) 14日(火) 21日(火)
内科	平岩 善雄	8日(水) 9日(木) 16日(木) 勝田 省嗣 9日(木) 15日(水) 21日(火) 22日(水) 23日(木) 24日(金) 仙田 聰子 10日(金) 貫井 友貴 10日(金) 松越眞之介 14日(火) 17日(金) 稻端 翔太 6日(月) 畠 好弘 16日(木) 20日(月) 宗平 悠暉 31日(金) 金武 玲奈 2日(木) 3日(金) 6日(月)
泌尿器科	長坂 康弘	1日(水) 17日(金) 上田 太郎 24日(金)

## 患者支援センターからのお知らせ 「第92回地域医療連携の会」

2025年11月頃、院内開催を予定しております。

※詳細は後日お知らせいたします。みなさまの参加をお待ちしております。



4月より患者支援センターに配属となりました、前田です。今まで病棟勤務で呼吸器や心臓血管外科など経験させていただき、入院中の患者さまや家族さまが安心して治療を行えるよう多職種と協力しながら看護していました。配属当初は外来の流れについてわからないこともあり、戸惑うこともありました。現在は日々緊張しながらも説明や電話対応などしています。まだまだ不慣れなことも多く皆様にはご迷惑をおかけすると思いますが、今後もコミュニケーション能力を高めて患者さまや家族さまをサポートできる一員となれるよう努めていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひ致します。

まだまだ暑い日が続いているですが、体調に気を付けてお過ごしください。

(患者支援センター 看護師 前田 新)



紹介依頼など、下記までお問い合わせください。

**富山赤十字病院  
患者支援センター**

TEL : 076-433-2492 FAX : 076-433-2493

e-mail : byousinrenkei@toyama-med.jrc.or.jp

夜間・休日のお問い合わせは…TEL : 076-433-2222(代表)

Fax : 076-433-2410(夜間・休日のみ)

編集後記